

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/09/22号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



60ドル台前半で売買が交錯

NY原油先物相場は、1バレル=62～65ドル水準で売買が交錯する展開になった。週前半はロシア産の供給不安を手掛かりに安値修正が進み、64.76ドルまで切り返した。ウクライナ軍がロシアの石油関連施設に対する攻撃を強化していること、米欧などがロシア産石油に対する制裁に踏み切るリスクが原油相場を押し上げた。しかし65ドルの節目に届かず上げ一服となり、週後半は戻り売り優勢の展開になった。結果的に60ドル台前半をコアとしたボックス相場が踏襲されている。

全般的に新規売買材料が乏しく、積極的な売買は見送られている。ウクライナの和平協議に目立った進展が見られず、ロシア軍はウクライナに対する攻勢を強めている。ウクライナ軍はロシア軍の燃料補給にダメージを与える目的で、ロシアの製油所や石油輸出ターミナルなどを集中的に攻撃している。一部でロシア産石油供給への混乱も報告されているが、断続的に原油相場を押し上げるほどのインパクトは見られなかった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（9月12日時点）は、原油が前週比929万バレル減、ガソリンが235万バレル減、石油精製品が405万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

需給緩和見通しで戻り売り優勢、供給リスクに注意必要だが

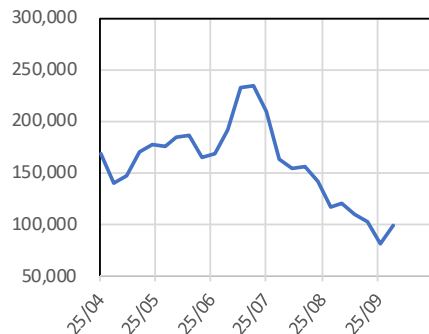
需給緩和見通しから戻り売り優勢の地合が続くと予想される。ドライブシーズン終了後の需要端境期に移行しているが、このタイミングで石油輸出国機構（OPEC）プラスの減産縮小（＝増産）が進むこともあり、世界的に供給過剰傾向が続く。マクロ需給要因では、原油相場を大きく押し上げることが難しい地合が続く。

商業在庫の増加ペースは、中国の備蓄戦略の動向にも強く依存する。中国は備蓄向けに世界の余剰在庫を吸収しており、原油相場の下落圧力を限定している。しかし、それを考慮に入れても需給バランスは供給過剰に傾きやすく、供給サイドに大きな動きがみられないのであれば、60ドルの節目を意識した展開が続く。

その供給サイドでは、引き続きロシア産を巡る動向には注意が必要。9月19日に欧州委員会はロシア産石油を輸送する「影の船団」に対する追加制裁を発表した。米欧がさらに強力な制裁を発表すると、改めて65ドルを試す可能性がある。トランプ大統領は、ロシア産原油を購入する中国やインドに対する関税を呼び掛けている。

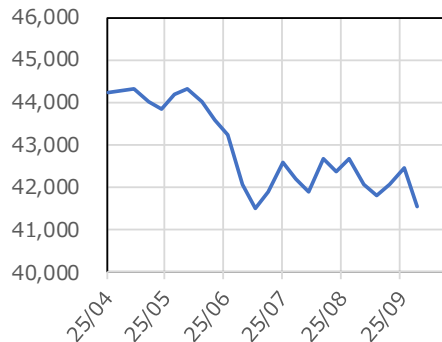
また、9月19日には国連安全保障理事会が、対イラン安保理制裁の解除を継続する決議案を否決した。9月27日までに新たな決議案が可決されない場合には、イランへの武器輸出禁止、核開発に関連した個人・団体の資産凍結などの制裁が再開される。イラン産原油輸出環境にも混乱が生じる可能性があるだけに注意が必要。逆にイランが核施設査察への合意などの譲歩姿勢を見せて、制裁復活が回避されると、戻り売り優勢の地合になりやすい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



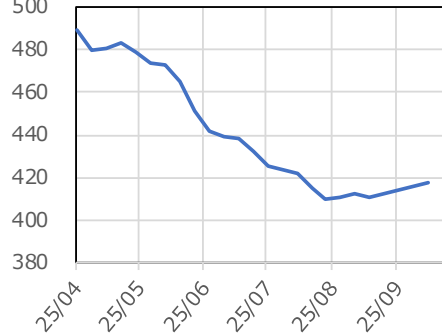
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

